

2025年11月6日

東芝テック株式会社

東芝テック、「MCPC award 2025」にて サービス&ソリューション部門 優秀賞、ユーザー部門 奨励賞を受賞

東芝テック株式会社（以下「東芝テック」）の取り組みは、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）が主催する「MCPC award 2025」において評価され、「AI×RFID ソリューション」がサービス&ソリューション部門の優秀賞、「AI・メタバースを活用したバーチャル接客による顧客エンゲージメント向上への取組み」がユーザー部門の奨励賞を受賞しました。

「MCPC award」は2003年に創設され、モバイル、IoT/AI、5G、ロボット、ドローン、クラウドなどのシステム活用事例を募集し、新たな価値の創出に取り組む企業・組織・団体を『ユーザー部門』と『サービス&ソリューション部門』の2部門に分けて表彰するものです。



東芝テックが開発した「AI×RFID ソリューション」は、物流やアパレル業界で導入が進む UHF 帯 RFID の課題である読み取り範囲の制御の難しさに対し、AI を活用して読み取り範囲を適切に判定することで、誤読みの削減や設置スペースの最適化を実現しました。

従来は電波遮蔽板などの什器設置が必要でしたが、本ソリューションにより省スペース運用が可能となり、識別対象や活用シーンの幅が広がります。

この取り組みは、RFID ソリューションの課題である誤読みや設置制約を AI で解決し、流通・物流業界の DX を加速させる革新的な事例として高く評価されました。

代表的な活用例として、「シールドレスチェックアウト」が挙げられます。（参考サイト：『東芝テック、RFID 技術と AI 技術を組み合わせた「シールドレスチェックアウト」を『リテールテック JAPAN 2024』に参考出展』：https://www.toshibatec.co.jp/release/20240307_03.html）

「AI・メタバースを活用したバーチャル接客による顧客エンゲージメント向上への取組み」は、アパレル業界における顧客体験の向上を目的とした取り組みです。生成 AI およびバーチャル技術を活用し、メタバース空間においてバーチャル化された人気インフルエンサースタッフとの接客や接点を通じて、ブランドとの新しい関係構築の可能性を広げることを目指しています。

本取り組みでは、メタバース空間上に登場するスタッフが接客やファッショナショナリティを行います。スタッフは、実際に SNS などで人気を集める店員がモデルとなるケースもあり、ブランドや商品に加え、店員のファンがバーチャル空間を訪れることが期待できます。ブランドの世界観に共感するファンとの臨場感ある接点を強化し、新商品や関連アイテムの提案を通じて、満足度の高い買い物体験につなげることが可能になります。

AI は、SNS などで人気を集める店員の接客スタイルや言葉遣いを分析しており、その特徴はバーチャル空間上のスタッフに反映しています。これにより、ユーザーはまるで実際に人気店員と対話しているかのような体験を、バーチャル接客を通じて得ることができます、ブランドとのつながりをより深めることができます。

東芝テックは今後も、流通小売業や物流業など様々な現場において、先端技術を活用した DX を推進し、業務効率化や社会課題の解決、新たなソリューションの創出に取り組んでまいります。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

東芝テック株式会社
経営企画部 コーポレートコミュニケーション室
TEL : 03-6830-9151